

留学報告書

オーストラリア・インターンシップ

学部学科・研究科専攻	国際学部国際学科		留学時学年	2年
留 学 先	国	オーストラリア	大学/機関	旅行会社
期 間	2025年8月2日～2025年8月31日			
	短期		計1ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

・科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
10時～17時	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

中国系の旅行会社で10名ほどの従業員がいて、そのうち2名が日本人、中国人が6名、オーストラリア人が2名在籍していた。

仕事内容：Canvaを使って会社のパンフレット、ツアーの旅程表、ネットレート表、インフォメーションシート、ホテルピックアップリストの作成(日・英)、予約サイトでお客様に確認メールを送る、ドライバーの残業時間の計算、ツアーに持っていく資料の準備、翌日のツアーのスナックとペットボトルの水を用意する
お昼休憩が1時間あり、17時の退勤までに翌日のツアーの備品の準備やお客様への確認メールの送信、ホテルピックアップ場所と時間の確認を終わらせるために前もってできることを先にするようにしていた。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

他にインターンシップと一緒に来ている人がいなかったなので、休日は電車やフェリーを使ってシティやボンダイビーチ、ワトソンズベイ、ニュートウンを一人で観光したり、ホストファミリーに紹介してもらった日本から留学に来ていた子と会ってショッピングをしたりして過ごした。また、インターンシップ先の会社のツアーに無料で同行させてもらえたため、ブルーマウンテンズとポートスティーブンスの英語ガイド付きの日帰りツアーに参加した。最後の週末はホストファミリーがドライブで海沿いの公園や地元のマーケットに連れて行ってくれた。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

[Woolworths・Metro]

街でよく見かけるスーパーマーケットで生活用品や食品、ばらまき用のお土産などの品揃えが豊富で週に2回ほど通っていた。

[QVB]

シドニー中心部にあるショッピングセンターで、オーストラリアの有名なお土産のお店や、アパレル、飲食店などが多く入っていた。

[ローカルのカフェ]

シドニーはローカルカフェが沢山あり、ホストファミリーの家の最寄り駅にあるカフェや仕事場の最寄り駅のカフェに仕事前に行ってコーヒーを買ったり、昼食をテイクアウトしたりしてよく利用していた。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1部屋 1人で使用

様子：ホームステイ先の家は一軒家で私以外に留学生はおらず、勉強机やクローゼットなどが付いた一人部屋を使用した。シャワーとトイレは2つあったため共有ではなかった。料理が趣味のファミリーだったため、オーストラリアの家庭的な料理や中華料理、白米など1か月ほぼ違うメニューの食事を作ってくれた。シドニーのおすすめのカフェや観光地をたくさん教えてくれて、休日のプランを一緒に考えてくれるなど、現地の人しか知らない貴重な情報を聞くことができた。ファミリーの友達や仕事仲間がたまにきて一緒に夕飯を食べたり、小さい子がいたので一緒にゲームをしたりして遊んだ。洗濯はいつでもすることができ、週に2回ほどまとめて洗濯していた。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- **楽しかったこと：**コーヒーが好きなのでカフェ文化が盛んなオーストラリアでいろいろなカフェを巡ることができたことが嬉しかった。インターンシップ先のツアーに参加して英語のガイド付きで世界遺産のブルーマウンテンやポートスティーブンスのコアラ保護区、サンドボード体験などオーストラリアの自然を感じることができてとても貴重な経験だった。最終日は会社のみinnでおすすめの中華料理レストランにランチに行き、温かく送り出していただいたことが嬉しかった。休日にシドニー市内で開催されている無料のウォーキングツアーに参加し、ハーバーブリッジやロックス地区などガイドの説明を通して街の歴史や文化を学ぶことができ、とても楽しい経験となった。
- **苦労したこと：**仕事を教えてくださる担当の方が日本人だったので思っていたよりもインターンシップ先で日本語を使うことが多く、イメージとのギャップに初めは苦労した。自分から英語で会話する機会を増やすために会社のドライバーさんやガイドさんと雑談したり、英語のツアーに参加したり、ホストファミリーと積極的に会話をするなど自分から行動するようにしていた。週に2回1時間ほど全体のミーティングがあり、全て英語で話し合うのでスピードが速く、専門的な単語も使われるため理解するのが大変だった。生活に関しては、今年は雨が多い8月だったこともあり、想像していたよりもずっと寒く、家でも薄いダウンを着ていた。

[7] 留学の成果について教えてください

1) **語学力の向上**：以前語学留学に行ったことがあるのですが、実際に1人でインターンシップをしながら生活してみると相手の言っていることが理解できて話を広げたり聞き返したりする文が出てこなくて会話がすぐに終わってしまいました。ツアーで一緒になった人に話しかけてみる、ホストファミリーに綺麗な文法ではなくてもとにかく質問に答えるだけでなく、聞き返してみても正しい言い方を学ぶことを心がけていくうちに初めよりも会話を続けられるようになった。初めて会社のミーティングに参加したときは聞き取れない部分が多かったが、オフィスで使われる言い回しや、専門的な単語を聞いて学んでいくうちに聞き取れるようになり、話し合われている内容を理解して意見を考えられるようになった。

2) **専門知識の向上**：

お客様にホテルピックアップの時間や場所といった重要な情報をメールで送っていたので、何回も確認をして、疑問をそのままにせず、すぐに聞くように心がける意識がついた。

Canva を使ってパンフレットや旅程を作る中でたくさんアドバイスや試行錯誤を重ね、どんな内容やデザインにすることで魅力的な物になるかを学ぶことができた。ツアー会社はお客様に楽しんでもらうことはもちろん、ガイドやドライバー、同業の旅行会社との信頼関係や繋がりが大切だということをミーティングや実際にツアーに参加してみて感じる事ができた。

3) **自己成長など**

1人で海外の会社で責任感を持って働く経験を通して、問題が起こったときに自分で考えて対処する力がついた。想像していたよりも日本語を使う機会が多かったが、このままではもったいないと思って、英語で会社の人に話しかけたり、家でファミリーと沢山会話をしたり、1人の時間も英語のバラエティー番組を見る、ポッドキャストを聞くなど英語を上達させる機会を待たずに自分で作ろうという意識で行動することができた。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

海外でのインターンシップは思い通りにならないことも多く、初めはイメージとのギャップに苦労したり、自分の英語力の無さに落ち込むこともあると思いますが、自分の興味のある分野の仕事を1か月間異国で体験することで必ず自分の成長に繋がると思います。派遣先からフィードバックを貰うことができるのでこれからの就職活動や自己分析に役に立つと思います。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

内訳			金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	79万円
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費など)	
4	教材費		0
5	保険代		1万8千円
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		8万円
7	個人的な買い物		4万円
8	その他()		0
9	留学に関する費用(1から8の合計)		92万8千円
10	受給した奨学金(奨学金名:)		0
11	留学に関する費用総額(上記9から10を引いた額)		92万8千円

